

まち塾



山代温泉通り商店街振興組合/谷口呉服店

《山代温泉通り商店街振興組合 まち塾共通テーマ：
「観光と共存する商店街」》

第1回まち塾（まちなか商店学習塾）

山代温泉通り商店街振興組合 ×

山代温泉旅館（観光客）

1. 第1回まち塾〔有限会社谷口呉服店〕について

【テーマ】 きれいな着付けと美しい所作

【塾長】 有限会社谷口呉服店 店主 谷口 敏子 氏 (有)谷口呉服店代表取締役

【会場】 山代温泉葉渡莉（加賀市山代温泉通り 17番地）

【日時】 平成28年1月20日（水）午後3時～午後5時30分

【内容】 ○講話と着付け実習（谷口氏）

・谷口呉服店の紹介

・着付け実習

○着物姿での美しい所作の実習（講師 藤間寿帆 氏）

・山代小唄の踊りの振り付けで着物姿での美しい所作を学ぶ

・踊りの披露（葉渡莉1階の「浮舞台」で披露）

受講者が山代小唄の踊りを披露

【対象】 山代温泉葉渡莉の宿泊客並びに地域住民等

【特徴】 ○着付けと所作の実習

着付けと所作のふたつの実習を連続して行うところに特徴があります。着物姿での所作の美しさを学ぶことで、着付け技術への理解も深まります。

○ご自身の着物を持ち込んでの着付け

受講者ご自身の手持ちの着物と小物を使った、実践的な着付け教室です。

受講者の体型や和装の目的に合った着付け指導ができます。

○山代小唄の練習

着物姿での美しい所作を学ぶために、「山代小唄」の踊りの練習を行うことも大きな特徴です。山代温泉に伝わる民謡を学び、温泉情緒を体感することにもつながります。

○温泉旅館「葉渡莉」とのコラボレーション

着付けと振り付けの会場に、同旅館の和室をお借りします。和装がよく似合う会場で受講者の意欲も高まります。同旅館の宿泊客も参加できるプログラム（着付けの見学と山代小唄の練習参加）にもなっています。

2. 有限会社谷口呉服店の概要

法人名：有限会社谷口呉服店

呉服、婦人洋品販売（小売店）

店　主：谷口　敦子

沿　革：創業は大正元年。現在地で開店、昔は劇場を経営していた。

大正元年から呉服店を創業。現在の店舗は平成14年に建築（昭和初期の店構えを復元）。

取扱商品：呉服、婦人洋品、学生服など

定休日：火曜日・第3日曜日

営業時間：9：00～19：00

3. 山代温泉通り商店街振興組合について

山代温泉の入口とも言える「九谷広場」から中心部の「山代温泉古総湯」に向かうメインストリートが「山代温泉通り商店街振興組合」です。

九谷広場は昭和40年代までは鉄道の駅がありました。近隣住民や観光客がここに降り立ち、徒歩で総湯に向かいました。温泉通り商店街はこうして形成され、いまも30店舗の多様な商店があり、地元住民の生活に根ざした商業活動を展開しています。

同商店街の店舗の特徴は、多くの店舗が、店舗と住居が一緒になっており、また、同地での営業年数が長く、地域住民を顧客とする地域密着型の商いをしているところにあります。

※山代温泉通り商店街振興組合ホームページ：

<http://www.yamashiro-spa.com/onsendori/index.html>

4. 観光と共に存する商店街の活動とまち塾

課題は観光客の取り込みにあります。同商店街のほとんど店舗が地域住民を対象にした品揃えになっており、観光土産などの観光客向けの商品構成には必ずしもなっていません。これまでの取り組みとしては、酒販店グループでプライベートブランド「純米酒やましろ」(鹿野酒造製造)の販売や、和菓子店での「源泉まんじゅう」の販売などを行っていますが、どちらかといえば観光客に対して「待ち」の姿勢となっている店舗が多く、積極的に働きかけを行っている店舗は多くないのが現状です。

山代温泉には、観光客が年間74万人(加賀市観光統計 平成26年度)訪れており、今回のまち塾では、「まち塾」の効果性を高めるために、地域の温泉旅館と連携を行い、少しでも多くの観光客に、商店街に訪れてもらえることを目的に開催することにしました。

具体的には、旅館側では宿泊されるお客様に「まち塾」の告知並びに会場の提供を行い、商店側は連携先の旅館で観光客の方も参加可能なプログラムの「まち塾」を開催する。商店にとっては、旅館との連携によって、観光客に対して個店のPR並びに売上の増加に繋げることが出来るよう、そして旅館は顧客満足度を高めることによりリピーターを生むことが出来るよう、双方に相乗効果が表れ、山代温泉地域の活性化に繋がることを目的に実施します。

主催：山代温泉通り商店街振興組合

山代温泉商工会振興会

後援：加賀市

協力：石川県商店街振興組合連合会

石川県中小企業団体中央会

5. 今後、まち塾に取り組む商店の紹介

第2回まち塾：御菓子処しもつね(和菓子製造販売)

【テーマ】父娘で思い描く菓子店の将来

【内 容】①和菓子の歴史、和菓子と健康などについて

②観光客に向けた地元の素材を活かした和菓子について

③和菓子づくり体験(下さん父娘による実演と指導)

【開催日時】平成28年2月7日(日)午前10時～正午

【会 場】山代温泉「葉渡莉」(加賀市山代温泉通り17番地)

第3回まち塾：カクテルバー・スイング(飲食店)

【テーマ】バーの楽しさ、バーテンダーの役割

【内 容】①接客のプロが話す観光客、地元客に対するおもてなしについて

②ドリンク作りの実演(ノンアルコールドリンクもつくります)

【開催日時】平成28年2月11日(木・祝)午後3時～午後5時

【会 場】カクテルバー・スイング(加賀市山代温泉通り31番地4)

6. まち塾（まちなか商店学習塾）とは

～地域資源×商店×地域住民で、賑わい創出とまち・ひとの活性化へ～

●まち塾のスタイル

まち塾は商店主が塾長を務め、地域にお住まいの皆様に受講者になっていただきます。塾長が専門店ならでは貴重な情報や地域への思いを語り、また、受講者の皆様の声に耳を傾けます。個性的で経験豊かな商店主の人柄に触れることができるでしょう。

●まち塾の目的

まち塾は、商店街のお客様だけではなく、地域にお住まいの皆様と商店や商店街との関係を深めるために開講するものです。まち塾をきっかけに新しい商店街活動が自主的に始まることを目的にしています。

●地域資源を活用するまち塾

まち塾は、地域資源を商店街活動に活用することを考えます。地域資源は特産品や文化財だけにとどまらず、まちの景色や風習であったり、魅力的な商店主や住民であったりして、想像力を膨らませれば無限に湧いてきます。山代温泉通り商店街振興組合では「温泉・観光（観光客）」を地域資源ととらえ、「観光と共存する商店街」をテーマにまち塾を企画しました。

●昨年のまち塾

まち塾は平成26年から始めました。昨年度のまち塾で「発掘」した地域資源には地域の病院、古い町家と町家の連なる街並み、ご近所にある保育園や幼稚園などがあります。それらを活用する試みとして「糖尿病予防の健康料理教室」「町家を活かした店づくりとモノづくり」「絵本の読み聞かせ」などのまち塾を開講しました。